

多文化イベント「教育×e-sports×多文化共生 in 生野」を開催!

大阪市生野区にある公立中学校を舞台に、地元の中学生と外国ルーツの留学生・日本で暮らす外国ルーツ青少年たちによる e-sports を通じた多様な交流の場が作りだされ、多文化共生のまちづくりに向けたいくつもの「つながり」が生まれました。

本イベントの様子が 12 月 22 日に TBS「news23」で放送、紹介されました。

【開催概要】

・日時:2021 年 11 月 20 日(土)8:30~16:00

・場所:大阪市立新巽中学校

・目的:「自らの考えをもって行動する力、グローバルな視点を育て、将来の地域人材の育成につなぐこと、そこから生野のまち、多文化共生のまちづくりにつなぐ」

・内容:

〈1 部〉:しんたつ GO あらうんど II /土曜授業:多文化・交流プログラム

◆主催:新巽中学校

◆協力:IKUNO・多文化ふらっと、韓国大阪青年会議所

(参加者 230 名)

〈2 部〉:しんたつ、勝手に Uber Eats! /多国籍料理のお弁当を準備

〈3 部〉:生野で、勝手に e-sports 大会 /「脱獄ごっこ」外国ルーツ青少年と中学生混合の 5 人チームで対戦

◆主催:IKUNO・多文化ふらっと、韓国大阪青年会議所

◆協力:新巽中学校、ロート製薬(株)、(株)スポーツタカハシ、近畿大学国際学部岡崎ゼミ、生野区役所

(参加者 100 名)

<参考:当日の様子>



2021 年都市再生フォーラム ―歴史・人権を活かした多文化共生のまちづくり― を開催

2021 年都市再生フォーラム ―歴史・人権を活かした多文化共生のまちづくり―が開催され、会場参加とオンライン参加を合わせて 180 名が参加しました。

主催者挨拶に立った趙成烈・駐大阪大韓民国総領事は、昨年の都市再生フォーラムを振り返り、「日本国内で在日韓国人が最も多く在住している大阪においては、韓日両国民はもちろん、様々な背景を持つ人々にとっても都市再生は共通する課題である」と言及しました。その上で、今年のフォーラムの第2セッションにおいて「生野に位置する御幸森小学校の跡地を運営することになった IKUNO・多文化ふらっとから運営構想について聞き、それに関する建設な意見交換をする時間を設けます」と述べました。さらに「御幸森小学校を地域再生のために有効活用することは大阪市と生野コリアタウンにとって重要な課題であります」と、その意義について語りました。

【開催概要】

・日時:2021 年 11 月 9 日(火)

・場所:ホテル日航大阪

・主催:駐大阪大韓民国総領事館、大阪市立大学都市研究プラザ、NPO 法人コリア NGO センター、
NPO 法人 IKUNO・多文化ふらっと

・内容:

〈第 1 セッション〉:基調発表「エスニック地域資源を生かした地域丸ごとミュージアムによるまちづくり」

◆発表者:全泓奎/大阪市立大学都市研究プラザ副所長・教授

◆パネリスト:鄭榮鎮/大阪市立大学都市研究プラザ特任講師

石川久仁子/大阪人間科学大学社会福祉学科准教授

矢野淳士/AKY インクルーシブコミュニティ研究所研究員

〈第 2 セッション〉:基調発表「御幸森小学校の跡地を活かした『いくのパーク』の挑戦」

◆発表者:宋悟/IKUNO・多文化ふらっと理事・事務局長

◆パネリスト:川瀬瑠美/広島文教大学教育学部助手

阿久澤麻里子/大阪市立大学大学院都市経営研究科教授

木村和弘/生野区まちづくりセンター常勤アドバイザー

<参考:当日の様子>



■拠点づくり事業 -御幸森小学校跡地活用/ふらっとトークの開催-

御幸森小学校跡地で展開する「いくのコーライズパーク」とは?本事業への想い、事業概要など、御幸森小で何をするかをお話する会を開催しました。

- ・第1回:2021年12月7日(発表者:宋)
- ・第2回:2021年12月14日(発表者:木村)
- ・第3回:2021年12月21日(発表者:森本)
- ・第4回:2022年1月11日(発表者:宋)
- ・第5回:2022年1月18日(発表者:金谷)
- ・(開催予定)地域住民向け説明会:2022年2月25日

■学習・交流事業 -コーライズ学習会の開催-

拠点づくり(コーラーニング・スペースづくり)に向けたヒアリングを兼ねて、学習会や実験的事業を開催しました。

- ・第1回:2021年7月6日(講師:ノンくんのお母さん/大阪聖和保育園・保護者)
「ノンくんの母親になって感じていること、感じてきたこと、「障害」をめぐる社会との関係」
- ・第2回:2021年7月19日(講師:栗田拓/NPO法人トイボックス・代表理事)
「トイボックスが箕面でされている子ども事業施設「b&g」の視察&意見交換」
- ・第3回:2021年10月14日(講師:金恵心(きむへしむ)/愛信保育園・園長)
「在日を生きて~これからの生野区に期待すること~」

■学習・交流事業 -学習サポート教室の共同運営-

地域の教育NPOであるクロスベースと協力・協働して、すでに実施されている学習サポート教室「DO-YA(どおや)」を共同運営しています。基礎学力レベルから、一人ひとりのレベルに合わせて学習をサポートします。子どもたちの主体性やモチベーションを引き出すための日常的な対話を重視します。日本語指導が必要な子どもたちには、専門性を持った講師たちが懇切丁寧に指導にあたっています。

【開講概要】

- ・曜日:毎週 月、水、木
- ・時間:1コマ目 17:30~19:00(90分)、2コマ目 19:20~20:50(90分)
- ・参加者実績(2022年1月現在):8カ国の外国ルーツ、45名の子どもたちが参加しています

【教室風景】



■学習・交流事業 -外国ルーツの子どもたちの支援体制「わかばモデル」構築に参画する-

生野区にある府立大阪わかば高校は 2022 年度から府内 8 校目の「日本語指導が必要な帰国・外国人生徒入学選抜」実施校となります。さらに、地域ネットワークと連携して生徒を包括的に支える体制を構築するなど、高校における多文化共生教育のロールモデルを目指しています。そのためのキックオフフォーラムを開催しました。

- ・名称:大阪わかば教育フォーラムーキャリア支援のための日本語教育と多文化共生
- ・日時:2021 年 8 月 6 日
- ・主催:同教育フォーラム実行委員会

(大阪わかば高校、NPO 法人 IKUNO・多文化ふらっと、NPO 法人クロスベイス、一般社団法人いくのもり)

- ・後援:生野区、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会
- ・内容:〈I 部〉:基調報告(大阪わかば高校校長 幸川由美子)
- 〈II 部〉:パネルディスカッション

- ・高谷幸(東京大学大学院准教授)
- ・向畦地昭雄(前大阪教育庁教育監)
- ・山口照美(生野区長)
- ・金和永(NPO 法人クロスベイス学習支援コーディネーター)
- ・甲田菜津美(府立大阪わかば高校教諭)
- ・金光敏(NPO 法人コリア NGO センター事務局長)

参加者:150 名(会場及び ZOOM 参加)



■学習・交流事業 -都市行政ネットワークセミナーの開催-

地域内に散在するエスニックな資源や歴史、文化資源のようなさまざまな地域資源を活かした地域全体の人権と多文化共生のまちづくりを学習し、地元の関係者を交えて意見交換を行うことによって包摂都市ネットワークの輪の拡大に資することを目的に実施しました。

【開催概要】

- ・日時:2022 年 1 月 27 日(木)
- ・場所:御幸森会館/コリアタウン周辺
- ・主催:包摂都市ネットワーク・ジャパン/インクルーシブシティ研究会、協力:NPO 法人 IKUNO・多文化ふらっと
- ・内容:〈報告①〉 :「いくのコーライブズパーク」構想の展望(宋悟/IKUNO・多文化ふらっと・事務局長)
- 〈現地視察〉:「コリアタウン周辺地域」(金賢泰/NPO 法人コリア NGO センター・事務局次長)
- 〈報告②〉 :「生野区役所と多文化共生行政」(生野区役所担当者)

■調査・提言事業 -作成論文の発表-

調査・提言プロジェクトで作成した論文「大阪市生野区における『多文化共生のまちづくり拠点』に関わる検討ーまちづくり活動に関わる実践者へのインタビュー調査を通してー」が、2021 年 10 月 30 日にコミュニティ政策 19(コミュニティ政策学会 編)で発表されました。



■多文化イベント事業 -外国ルーツ青少年の関西・多文化キャンプの企画-

下記概要でのキャンプの開催を予定しています。

- ・日時:2022年3月19日(土)~21日(月) 2泊3日
- ・場所:大阪府立少年自然の家
- ・定員:120名(小学生高学年から高校生80名、大人スタッフ40名の想定)
- ・主催:IKUNO・多文化ふらっと、Minami こども教室、(公財)とよなか国際交流協会

- <目的> 1. 関西における多様な外国ルーツ青少年との出会いと交流を通じて各自の自尊感情の醸成とともに、多文化共生に向けた相互理解を深める。
2. 関西における外国人支援や多文化共生に関わる関係者間のネットワーク基盤の強化を図る。

■大阪市生野区役所と包括連携協定を締結!!

IKUNO・多文化ふらっとは、12月21日(火)に大阪市生野区役所と包括的連携協定を締結しました。今後、本協定により当法人は、生野区役所とパートナーシップをむすび、生野区における「多文化共生のまちづくり、子どもの教育、災害時支援、地域活性化、シティプロモーション」の5分野において緊密な連携と協力をすすめ、生野区の成長・発展を目指します。



山口生野区長

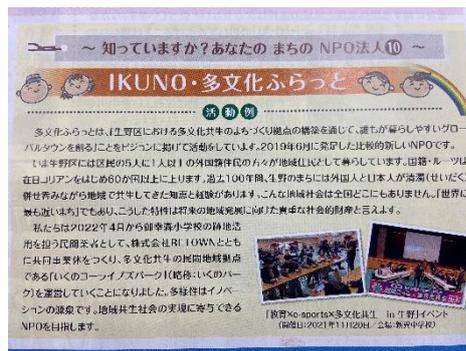


森本代表理事



■地域広報への掲載

・社協だより ふれあい生野(2022年1月号)／編集:社会福祉法人大阪市生野区社会福祉協議会



・広報いくの(2022年2月号)／編集:生野区役所企画総務課

